

2023年11月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	+19.1	柏 店 ※3	△3.6
堺 店	△4.3	(株) 高島屋 各店計	+10.2
京 都 店 ※1	+17.6	(株) 高島屋 各店計 ※4 既 存 店	+11.7
泉 北 店	△1.4	岡 山 高 島 屋	+2.1
日 本 橋 店	+9.8	岐 阜 高 島 屋	+8.3
横 浜 店 ※2	+1.8	高 崎 高 島 屋	+4.4
新 宿 店	+13.1	国 内 百 貨 店 計	+9.8
玉 川 店	+2.2	国 内 百 貨 店 既 存 店 計 ※4	+11.2
大 宮 店	△8.5		

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。

また、9月からレストラン街の運営を子会社に移管したため、それを調整した実質では前年比+20.2%となります。

※2 2023年2月に営業を終了した「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」の前年実績を除いた実質では前年比+3.9%となります。

※3 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

※4 2023年1月に営業を終了した立川店の前年実績を控除しています。

■ 概況

○11月度の店頭売上高は、国内顧客・インバウンドとも好調に推移し、前年・2018年を上回りました。

高額品が堅調だったことに加え、気温の低下に伴いコートやマフラー、手袋など冬物衣料雑貨にも動きが見られました。

店頭売上高	前年比	+9.8%	2019年比	+10.3% (※)	2018年比	+5.7%
免税売上高	前年比	+121.4%	2019年比	+75.5%	2018年比	+52.7%
免税を除いた店頭売上高	前年比	+4.3%	2019年比	+6.2% (※)	2018年比	+2.4%

(※2019年10月 消費増税)

○店舗別売上高は、大阪店、京都店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、岡山店、岐阜店、高崎店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類による14店舗ベース)は、紳士服、紳士雑貨、婦人服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、子供情報ホビー、スポーツ、リビング、美術、食料品、サービスが前年実績を上回りました。

以 上